

りて糞をする↓いつのまにか糞の中の種子が芽生える↓野イチゴやグミ、クワ、カキ、イヌビワみたいな餌植物が集落まわりで自生し始める。イノシシだってやってくる。集落になる日は近いぞ。

キュウリ

あのね、キュウリでは肩すぼみの尻太りとか、肩膨れの尻すぼみの原因は肥料切れ、水切れが原因。

あつ、それから採り忘れた巨大キュウリを黄色くなるまでマルチ上に放置するのはやめんさい！

カボチャ

あのう、昨年の夏に鹿児島県内のある集落でみかけたんだけどお、イノシシ、シカ対策って一生懸命ワイヤーメッシュで囲った菜園。

でね、カボチャのツルがそのワイヤーメッシュ乗り越えて柵の外に脱出して畑の外でカボチャが実ってた。

コレって柵さえ探せばカボチャがあるよ、柵の中にはもつとあるよ、ワイヤーメッシュってちよつと頑張れば突

破けるよってイノシシに教えてあげてるようなもの。

ワイヤーメッシュがあれば寄って来るイノシシを育てるような近所迷惑な行為は皆さ人もやめてくださいな。

家庭菜園のカボチャの獣害対策、決めては立体栽培。

キュウリと同じような合掌またはトンネル支柱に20センチ目合いのフラワーネット。自分が下に入って楽に歩いて下から両手が届く高さ。

次に大規模にカボチャ作ってる農家さま。

収穫が終わったならできただけ速やかに後片付けと耕起、収穫後も柵は撤去しないことをお願いしまーす。

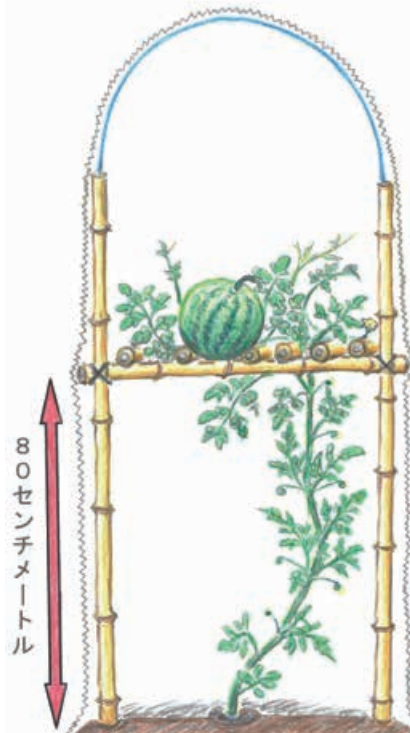
出荷基準まで生育できなかった遅れ果や変形果、畑に放置しても近くの雑木林にすてても冬を超えて翌年まで餌として残るからね。

スイカ

スイカって本玉は節位18〜22で着果させるでしょ。あなは早なり果、撤去してどこに捨ててる？

畑の横の草むらなんてダメですよ！
それから出荷終わった後、

鳥（カラス）よけネット



竹で棚を作る。

80センチメートル

図Ⅱ 『スイカ』の受け棚栽培

枯れたように見えるツルだけど、先の方で小さな葉がでてまだまだ生きてるし、小さな遅れ果がいつまでも残置される。

だから、摘んだ早なり果は柵の中の捨て場所に、柵は出荷が終わっても撤去しない。

家庭菜園のおすすめは受け棚栽培。80センチの高さに幅50センチくらいの棚を作ってこれに届く幼果を棚の上につける。節位でいえばだいたいこれが本玉。
棚に届かない幼果は奈良漬けとか糠漬に使えるよ。
それに、受け棚栽培はカラ対策がめっちゃ簡単。

今回はイノシシの潜み場になり易い竹林管理だよ～



講師紹介 **井上 雅央氏**

1949年、奈良県出身。

愛媛大学大学院農学研究科修士課程修了、京都大学博士(農学)。

元 農研機構 近畿中国四国農業研究センター鳥獣害研究チーム長。

退職後、同センター専門員。宮崎県、熊本県、広島県、静岡県などでアドバイザーとして継続的に活動。

著書に、『これならできる獣害対策』『山の畑をサルから守る』『山と田畑をシカから守る』『60歳からの防除作業便利帳』『ハタニ』『女性がすれぱずんずん進む獣害対策』(いずれも農文協)など多数。

